

# たかねやま

多治見市立根本小学校

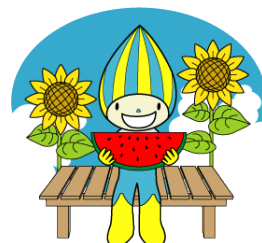
令和5年7月20日

No.5

校長 横山 美智代

## さあ、夏休み！夏休みは今までにない力が出せる大きなチャンス

新学期から約4ヵ月。子どもたちは様々な活動から多くのことを学び、心身共に大きく成長しました。これもひとえに、ご家庭でのお子さんへの励ましや地域の皆様の温かいご支援のおかげと感謝しております。ありがとうございました。



明日からは38日間の長い夏休みに入ります。夏休みは普段と違った体験をする中で、いろいろな人との出会いが待っています。この頃、地域の人からも「子どもたちの挨拶の声が大きくなってきたよ」とお褒めの言葉もいただいております。挨拶を通して人とつながり、新しいことに気付きながら興味・関心のあることに時間をかけてじっくり取り組んだり、今しかできない家族のふれあいや地域でのかけわりを大切にしたりしてください。

子どもたちには「夏休みは、今までにない自分の力が出せる、大きなチャンスでもある」と伝えました。夏休みは、学校に来ることもなく時間割もありません。今まで学校で学んできたことを自分の力で発揮できる、大きなチャンスです。

生活のリズムをこわさないよう、まずは規則正しい生活（早寝早起き、朝ごはん）を心がけ、夏休みにしかできない挑戦（やってみよう、やってみたい）をして、夏休みならではの思い出をつくってほしいと願っています。有意義な夏休みにするために、

- ① 心のチャイムをならして、規則正しい生活をする。（早寝早起き、時間を意識）
- ② 家族の一員として、家の仕事を手伝う。…家の人と相談して決め、最後までやりきる。
- ③ 長い休みだからこそできることにチャレンジする。…読書や観察、作品作りなど、自分の興味があることに挑戦する。
- ④ 命を守るために危険なことをしない。（令和5年度 夏休みのくらし 参照）等

お子さんへの励ましや見届けをお願いします。8月28日には、新しい力を身に付けて、ますます立派になって笑顔で登校してくることを、教職員一同心より願っています。

### 「SOS の出し方」について スクールカウンセラーから学びました

困ったことがあった時や、困っている友達を見つけた時にどうするとよいのか「SOS の出し方」を全校で学びました。

＊困っている時は、大人に伝える

＊困っている時は、助けてもらう

＊友達が困っている時も大人に知らせる

困った時には一人で抱え込まずに、相談して解決することを指導しました。

### 保護者・地域の皆様、 よろしくお願いします



子どもたちにとって、夏休み中は地域の方々との交流の中で新たな学びが始まります。根本小の子どもたちにとって、安全な環境の中で新たな学びができる有意義な夏季休業となりますよう、重ねて保護者、地域、関係者の皆様の見守りやご支援をよろしくお願いいたします。